

令和7年度 庶野保育所 自己点検・自己評価結果報告

保育所での保育は、「保育所保育指針」という厚生労働省が告示するものに基づいて行われています。その保育所保育指針の中に『保育所は、保育の質の向上を図るため、保育士等の自己評価結果を踏まえ、当該保育所の保育内容について自ら評価を行い、その結果を公表するよう努めなければならない』とあります。このことに従い、当保育所職員も自己評価に取り組みました。その結果を別紙の通り公開いたします。

*評価するにあたっては、以下のような基準で行っています。

- : ◎・・・良くてきている
- : ○・・・ほぼできている
- : △・・・努力を要する

えりも町立庶野保育所

所長 佐原 しのぶ

項 目		評価
【1】子どもの発達（保育士）		
1	子どもの発達の特性や発達過程を理解し、「発達の連続性」に配慮して保育をしているか	◎
2	子どもと生活や遊びを共にする中で、一人一人の子どもの心身の状態を把握しているか	◎
3	子どもの情緒を安定させ、人への信頼感を育てるために、一人一人の子どもを愛し信頼しているか	◎
4	子どもは様々な環境との相互作用により発達していくことを理解しているか	◎
5	子どもが興味や関心を示し、自発的に働きかけることができるように、身近な環境を整えているか	◎
6	子ども同士の関係の基礎となるように、あなたは一人一人の子どもと信頼関係を構築しているか	◎
7	仲間との関係の中で「個」の成長も促すことを意識して、遊びを展開させているか	◎
8	豊かな感情とともに好奇心、探究心や思考力が養われるよう保育を工夫しているか	◎
9	発達上課題のある子どもに対しても、子ども自身の力を十分に認め、適切な援助及び環境構成を行っているか	◎
意見	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちそれぞれの力に合わせて取り組めるような関りをしている。 一人ひとりの気持ちに寄り添いながら関り、生活やあそびを共にしている。 	

項 目		評価
【2】保育の内容		
1. ねらいー内容		
(1) 養護（生命の保持・情緒の安定）（保育士、所長）		
10	子どもの健康観察を行っているか	◎
11	子どもが触れたりする物や場所など、衛生的な環境を保てるように常に気を付けているか	◎
12	子どもとの温かなやり取りやスキンシップを常に心がけているか	◎
13	子ども一人一人にわかりやすい温かな言葉で、おだやかに話しかけているか	◎
14	子どもが不安になったときにいつでも支えられるよう、一人一人を視野に入れているか	◎
15	その時々状況に合わせて一人一人の思いに寄り添った対応を心がけているか	◎
16	登所時、子どもの状況に応じて、抱いたり、やさしく声をかけたりしているか	◎
意見	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりとじっくり関りながら、思いを汲み取ったり声に耳を傾けている。 子どもたち一人ひとりと温かいスキンシップを常に心掛けています。 	

項 目		評価
(2) 教育		
①健康（保育士）		
17	戸外で遊ぶ機会を取り入れているか	◎
18	友だちと一緒に体を動かすことを楽しめるように働きかけているか	◎
19	健康な生活のリズムを身につけるよう、子どもの一日の生活の流れを考えながら保育をしているか	◎
20	食事の前や排泄の後の手洗いを励行するなど、清潔の習慣が身につくよう援助しているか	◎
21	各年齢に合わせた食事、排泄、着脱など生活に必要な活動の仕方を身につけられるよう、働きかけているか	◎
22	危険に気づいて行動できるよう、安全についてつたえているか	◎
23	病気の予防に必要な活動をその場その時に適して、取り入れているか	◎
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭と保育所とのリズムの違いになれるように、声掛けし保育所でも基本的な生活習慣が身につくように関わっている。 ・各年齢に合わせた援助を大切にしている。 	

項 目		評価
②人間関係（保育士）		
24	保育所生活の中で、自分でできたという充実感を味わえるような体験を取り入れているか	◎
25	友だちと一緒に喜んだり悲しんだりすることができる機会をつくっているか	◎
26	つまづきや葛藤、けんかなどを、子どもたちの育ち（発達）に欠かせないものとして、対処しているか	○
27	子ども同士が思ったことを相手に伝え、相手の思っていることにも気づけるよう援助しているか	◎
28	遊びの中で達成感が味わえるような機会を設け共感できているか	◎
29	良いことや悪いことに気づき、考えて行動することができるように配慮しているか	◎
30	困っている友だちのことを心配するなど、思いやりを持てるよう援助しているか	◎
31	順番を守るなどのきまりの大切さを各年齢に合わせて、理解できるように丁寧に説明しているか	◎
32	共同の遊具や用具を大切に使う事を働きかけているか	◎
33	当番活動や保育士の手伝いをするなど、人の役に立つ喜びを味わえるようにしているか	◎
34	周りの人や地域の人と挨拶を交わしたり、親しみを持てるよう心掛けている	○
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・思いを伝え合うことで、納得し相手の気持ちを気づき思い合っていけるような声掛けを心がけている。 ・友達や保育者とのあそびや、生活を通して必要な言葉を話したり、友達の気持ちに気づいたり会話の楽しさなど、人と関わる楽しさを味わせるようにしている。 	

項 目		評価
③環境（保育士）		
35	身近な動植物に興味や関心を持つことができるよう配慮しているか	○
36	身近な自然事象に触れ「どうして」や「なぜ」といった疑問に対して、一緒に調べたり考えたりしているか	◎
37	身近な自然物を通して、あそびを楽しめるよう配慮しているか	◎
38	あそびを通して数量や図形などに関心をもつよう工夫しているか	○
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭などの植物・動物に気づき、観察したり調べることでより興味をもてるようにしている。 ・子どもたちが興味・関心を持った物事には、たくさん反応し共感することを心掛けている。 	

項 目		評価
④言葉（保育士）		
39	あなたは、子どもの発達や理解力に合わせた言葉を使って保育をしていますか	◎
40	あなたは、日々心のこもったあいさつを子どもと交わしているか	◎
41	子どもたちが安心して話せる雰囲気を作り、最後までゆったりと聞くよう努めているか	◎
42	人の話を聞くことの楽しさを体験するよう心がけているか	◎
43	子どもが人前で話すときは、相手に分かりやすく話せるように援助しているか	◎
44	紙芝居や絵本を通して物語の楽しさや言葉の面白さに気づくよう心掛けているか	◎
45	「ごめんなさい」、「ありがとう」など、生活に必要な言葉をいつも使えるように保育しているか	◎
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本からの良い刺激やそこから得るものが多いので、読み聞かせを大切にしている。 ・年齢や個々の発達に合わせた声掛けをしている。 ・一人ひとりとたくさん言葉を交わすことを大切にしている。 	

項 目		評価
⑤表現（保育士）		
46	歌ったり、踊ったりして、音や動きの楽しさに気づき、楽しめるよう援助しているか	○
47	様々な音、色、形、手触り、動き、味、香りなどを感じる機会を作っているか	○
48	子どもが音楽に親しみを持ち楽しめるよう工夫しているか	○
49	子どもが作ったり表現したものを、お互いに見せ合ったりするような機会を作っているか	◎
50	感じたことや考えたことを、自由に描いたり、作ったりできる機会をもうけているか	◎
51	みんなで一緒に表現することの喜びを、味わえるような機会を作っているか	◎
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な素材を通して、楽しんだり作ったり、一緒に作る機会を多く取り入れている。 ・作りたい、作ってみたい気持ちを大切に自分でできた達成感や喜びを味わえるようにしている。 	

項 目		評価
(2) 保育の環境（保育）		
52	季節に合わせて、保育室の装飾など環境に工夫をしているか	◎
53	保育中に音楽を流すときには、選曲や音の大きさに配慮しているか	○
54	保育中のあなた自身の声の大きさは、子どもにとっていつも適切な大きさであるか	○
55	子どもの発達に即した玩具、遊具、用具を用意しているか	○
56	子どもの興味に合わせて、好きなあそびを楽しめるよう工夫しているか	◎
57	子どもの作品を工夫して飾ったり、ていねいに保存したりするなど、大切に扱っているか	◎
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・季節や行事を感じ取れるようにみんなで作ったものを飾ったり、子どもたちが思いを寄せてくれている気持ちを大切に、貰って嬉しかったことも同時に伝えている。 	

項 目		評価
(3) 子どもの人権（保育士、所長）		
58	性差への先入観による固定的な対応をしないよう配慮してるか	◎
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・固定的な対応をしないよう、子どもたち一人ひとりと性差することなく関わることができた。 	

項	目	評価
【3】 保育の計画及び評価		
(1) 保育の計画 ①指導計画の作成（保育士）		
59	指導計画作成は、必ず保育過程に基づいて作成しているか	◎
60	年・月案などの長期的な指導計画と関連させ、子どもの生活に即した週案などの指導計画を作成しているか	◎
61	指導計画を作成する際は、一人一人の子どもの発達過程や子どもの状況に配慮しているか	◎
62	週案などの指導計画は、子どもの興味や関心、意欲に合わせて活動が展開できるように作成しているか	◎
63	指導計画は、日々の保育の連続性や季節の変化を考慮して作成しているか	◎
64	行事は、その保育上の意義を十分検討したうえで、指導計画に組み入れているか	◎
65	あなたの指導計画の反省・評価は、次の指導計画作成に反映できるものとなっているか	◎
66	保育日誌の記入事項を、指示された内容で記入されているか	◎
67	その日にあった出来事や気になる子どもの様子などを、その子どもに関わる他の職員と共有しているか	◎
68	子どもの個人記録などは、個人情報保護法や守秘義務に基づいて管理しているか	◎
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの発達過程、状況に合わせた保育計画を作成している。 ・子どもたちの様子など、細やかに職員同士で共有・連携することができ、保育にも活かすことができた。 	

項	目	評価
【4】 健康及び安全		
(1) 子どもの健康支援（保育士）		
69	子どもの日々の健康状態を把握し、それを一人一人の保育に生かしているか	◎
70	身長・体重などの定期的な計測の結果を、保護者に文書で伝えていますか	◎
71	子ども一人一人の健康状態などを、職員相互で確認しているか	◎
72	子どもの投薬を要請された場合、医師の指示など留意事項の確認をしているか	◎
(2) 環境及び衛生管理（保育士）		
73	子どもが活動しやすいように、その都度、保育室の換気や温度・湿度に配慮しているか	◎
74	適宜、手洗い場やトイレを清掃し、清潔を保つようにしているか	◎
75	玩具・遊具については、適宜、衛生面に配慮しているか	◎
(3) 安全管理（保育士）		
76	子どもが危険な場所、危険な遊びがわかり、安全に気をつけて行動するよう指導しているか	◎
77	施設内外の安全に留意しているか	◎
78	交通安全の習慣が子どもに身につくように指導しているか	○
79	災害時に安全に避難できるようにするための訓練を行っているか	◎
80	不審者が侵入した場合に備えて、子どもの安全を確保するための対応策を理解しているか	△
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・消毒、換気などこまめに行い、気持ちよく生活できるよう十分配慮し、環境を整えている。 ・健康及び、安全について職員同士で把握しながら、子どもたちが安全に活動しやすいように配慮している。 	

項 目		評価
(4) 食育の推進 (保育士)		
81	子どもが落ち着いて食事・おやつを楽しめるように、雰囲気づくりなど工夫しているか	◎
82	様々な教材や畑の活動を通して、食べ物に興味や関心を持つことができるように働きかけているか	◎
83	食べ物が体のなかでどのような働きをするのかを、わかりやすく説明している	◎
84	その日の昼食の食べ具合などを、必要に応じて保護者に知らせているか	◎
85	食物アレルギーの子どもに対して、除去食などの配慮をしているか	◎
86	食材や調理する人への感謝の気持ちが育つよう心掛けているか	◎
意見	<ul style="list-style-type: none"> おいしくいただき、作ってくれた方たちに感謝しながら楽しい雰囲気の中で食事をしている。 子どもたちの好き嫌いや食べられる量を把握し、その日の進みなど状況に合わせて対応し食べることの楽しさを味わえるよう心掛けている。 	

項 目		評価
【5】 保護者に対する支援		
(1) 保育所に入所している子どもの保護者に対する支援 (保育士、所長)		
87	送迎の際に、保護者と言葉を交わすようにしていますか	◎
88	一人一人の保護者と、必要に応じて個別に面談を行っていますか	◎
89	あなたは保護者が子育ての悩みや心配事を安心して話せる存在になるよう、心がけているか	◎
90	保護者との情報交換の内容を、必要に応じて記録しているか	◎
91	保護者からの相談内容などを、担任一人の問題にしないで、保育所全体で受け止めようとしているか	◎
意見	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の気持ちに配慮しながら、子どもたちの成長と一緒に考えて、良い方向へ進んでいけるよう前向きに思いを伝えることができた。 心掛けてはいるが、どこまで踏み込んで伝えるべきか迷うことがあった。 	

項 目		評価
(2) 地域や関係機関との連携 (所長)		
92	子どもの医療や保健に関する問題について、連絡・相談すべきところを知っているか	◎
93	地域の住民から受けた子育て相談の内容について、連絡・相談すべきところを知っているか	○
94	保育所周辺の住民と良好な関係を築けるよう、日常的なあいさつなどを心がけているか	◎
95	中高生や大学生などの保育体験を受入れるときには、その目的や意義を理解・確認しているか	◎
96	実習生を受入れるときには、意義や方針を理解しているか	○
意見	<ul style="list-style-type: none"> 中学校の職場体験の目的を理解した上で、できるだけ受け止められるように努めている。 保育所周辺の住民と方々との良好な関係を築けるよう、日常的なあいさつなどを心掛けている。 	

項 目		評価
【6】 職員の資質向上（保育士、所長）		
97	会議などでは、子どもの最善の利益を尊重して発言しているか	◎
98	自分の保育実践の内容や意図を、職員にわかりやすく説明することができるか	◎
99	自分の保育実践について、職員から意見を聞くように努めているか	◎
100	自己評価等で課題を見つけ、その課題の解決のために計画的な自己研鑽しているか	◎
101	研修に参加したり専門書を読むなどして、保育に関わる様々な知識や技能の向上に努めているか	○
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちとの関り方など、感じた事、思った事などを会議で意見交換し、日々の関りを評価し、最良を目指して試行錯誤しながら保育している。 ・研修や町外の施設見学へ行き、自己研鑽ができた。 	